

かみすげたささのおか

令和5年4月28日
上菅田笹の丘小学校
学校だより 5月号



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標

自分大好き 仲間大好き

心かがやく上菅田笹の丘小学校



「ありのままの自分」

校長 世古 正樹

青葉の美しい季節となりました。新年度がスタートして3週間、子どもたちは新しい友達、新しい先生との出会いを大切に、学校生活を送っています。朝、校門に立っていると、たくさんの子が「おはようございます。」と元気に挨拶をしてくれたり、会釈をしてくれたりします。中には「ダンゴムシがいたの。校長先生にあげる。」と私の手のひらにダンゴムシをのせてくれる子や、「桜の花びらが落ちていたの。きれいでしょ。」と大事そうに持っていた花びらを見せてくれる子もいます。この朝のひとつは、私にとってのエネルギー充電の時間で、子どもたちとのふれ合いで、「今日一日、がんばろう!!」という力をもらっています。

4月13日(木)に1年生を迎える「入学おめでとうの会」がありました。司会進行を担当した児童運営委員会の子どもやゲームを担当した集会委員会の子どもが張り切って運営や進行をしている姿は、高学年としてのやる気や責任感があふれていて、とても立派でした。また、各学年からの工夫を凝らした心のこもった1年生へのプレゼント(アサガオの種、メダル、カレンダー、学校紹介カード、校歌の歌詞カード)も、1年生の立場になって考えられたプレゼントで、微笑ましかったです。この「入学おめでとうの会」を通して、1年生は上級生との交流を深めました。教室での学習だけでなく、学校探検や給食、外遊び等、活動もどんどん広がっています。日々、学校生活に慣れていく姿は頼もしく、これからのさらなる成長がとても楽しみです。

さて、先日、人権教育講演会に出席しました。その講演会の中で、講師の先生から、昨年度から私が子どもたちに機会あるごとに話している「自己肯定感」につながるお話がありました。子どもたちの「自律的な自尊感情」(自分の存在を尊重する気持ち、自分はあるがままで尊い人間だと自覚する気持ち)を育てるために大切なことは、次の3つとおっしゃっていました。

- 比べない 他者と比べない、今の自分で大丈夫、自分は価値ある存在
- 責め(攻め)ない 間違えたときに反省はしても自分を責めない、完璧を求めない
- 心配しない 先取り不安はマイナス要素を設定し否定的エネルギーを増してしまう

また、講師の先生は、心理学者のアルフレッド・アドラーの「幸せの三要素」も紹介してくださいました。

- 1 自分が好き ありのままの自分を受け入れる、「優越感」ではない
- 2 よい人間関係をもっている 家や学校、地域で安心できる居場所をもっている
- 3 人や社会に貢献している 他の人の幸せにつながる、手伝えると自分も幸せで嬉しい、貢献感

「自律的な自尊感情」「幸せの三要素」は、一人ひとりの子どもが自分自身を大切にすることにつながります。それは、自分の命を大切にすることにつながり、さらにはまわりの人の命を大切にすることにもつながっていきます。これからも、「他者と比べない」「自分を責めない」「ありのままの自分を受け入れる」「安心できる居場所をもつ」等を意識し、保護者の皆様と連携して、子どもたちが今の自分自身を好きになり、自己肯定感を高めていけるように、教育活動を進めて参ります。

5月18日(木)は授業参観・懇談会を予定しております。様々な制限がようやく緩和されてきましたので、授業参観は1日のみ、懇談会は開校して初めて実施します。子どもたちの学習している様子やクラスの様子を、ぜひご覧いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。